

据付工事は、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。

ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

警告 誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの

注意 誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの

据付工事終了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。据付けに不備があると、水もれや感電・火災などの原因になります。据付工事は、この据付説明書にしたがって確実に行う。据付けに不備があると、水もれや感電・火災などの原因になります。...

据付けは、ユニットの重さに十分耐える所に確実に行う。強度不足の場合、ユニットの転倒により、ケガの原因になります。...

電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気事業法」、「電気設備に関する技術基準」、「内閣府規程JIS C 8001(最新のもの)」および据付説明書にしたがって施工する。...

配線は、所定の電線を端子接続部に電線の外力が加わらないよう確実に接続・固定する。断線や固定が不完全な場合、端子部の発熱・火災などの原因になります。...

作業中に冷媒ガスがもれた場合は換気する。冷媒ガスが火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。...

据付工事終了後、冷媒ガスがもれていないことを確認する。冷媒ガスが室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。...

アース工事を行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アースが不完全な場合、感電・火災の原因になります。...

電圧試験は、電気品箱ふたが浮き上がらないよう電線を整理し、ふたを確実に取り付ける。ふたの取付けが不完全な場合、感電・火災などの原因になります。...

ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。転落・落下などによる事故の原因になります。...

注意

ドレン工事は、据付説明書にしたがって確実に排水するように配管し、結露が生じないように断熱する。配管工事に不備があると水もれし、家財などをぬらす原因になることがあります。...

室内・室外ユニットおよび電気配線・連絡配線はテレビ・ラジオから1.5m以上離して設置する。喚起の乱れや雑音を防止するためです。...

室内ユニットはできるだけ蛍光灯から離れた場所に据え付ける。インヤレスタート設置の場合、電子式点灯方式(インバーター)またはラッドスタート方式の蛍光灯がある部屋では、インバーターの送信距離が短くなる場合があります。...

- 1. 切削油など鉱物油がたまり、調理場など、油・油蒸気や蒸気の多い場所。腐蝕部品が劣化し、部品の落下や水もれの原因になることがあります。
2. 硫化ガス・亜硫酸ガスなど腐食性ガスの発生する場所。衝撃・ろう付け部が腐食し、冷媒もれの原因になることがあります。
3. 電磁波が発生する機械がある場所。制御系統に異常を生じ、正常な運転ができない原因になることがあります。
4. 酸化ガス・可燃性ガスのもれるおそれのある場所。カーボンを引火性粉塵・導電性粉塵の浮遊する場所およびセンサー・ガスリレーなど可燃性引火物を取り扱う場所。
5. 小動物のすまひになるような場所。侵入した小動物が内部の電気部品に接触すると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

本製品は、吹出ダクトから出る冷風の当たる範囲だけを冷房するスポット式エアコンです。開め切った状態場所では、室温が上昇しますので据付場所の選定(下記②項目)には、充分ご注意ください。

おながい事項 取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき正しい運転のしかた(特にロングライフフィルターの清掃、運転操作のしかた)をご指導ください。

別売付属品 本製品の吹出口には、別売延長ダクトが必要です。下表から該当するもの(1台につき吹出口数が必要)をご用意ください。PAC-297ED(φ125x5m)

付属品

Table with columns: 名称, リモコンスイッチ, 吹出口ふた, 吹出口基フランジ, 止めバンド, クランプ材. Includes diagrams of components like remote control switch, outlet caps, and clamps.

下記内容については特に注意して工事を行い、完了後再度チェック願います。

(1) 工事完了後のチェック項目

Table with columns: チェック項目, 不良の場合, チェック欄. Lists items like '製品はしっかりと取り付けられていますか?' and '断熱は完全に行いましたか?'.

(2) 引渡し時のチェック項目

Table with columns: チェック項目, チェック欄. Lists items like '取扱説明書をお客様に見ていただきながら取扱い説明を行いましたか?'.

取扱い説明のポイント

一般的な使用方法に加えて、取扱説明書の中で警告や注意マークの付いている項目は、身体的事故や物的損害につながる可能性のある項目ですから、記載事項を説明するとともに、お客様にもよく読んでいただくよう説明が必要です。

フロンについて

この表示はエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを注意喚起するための表示です。1)地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類を回収する必要があります。2)本機には最大で、以下に示す量のフロン類が使用されています。C02 2,000kg相当

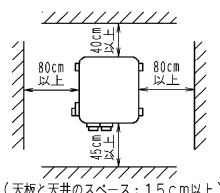


1 据付けの前に 付属品は据付工事に必要なため捨てないでください。

- (1) 搬入経路を決めてください。
(2) 搬入時は据え付ける場所まで梱包のまま搬入してください。やむをえず開梱して搬入する場合は、製品を傷つけないよう、スリング(布製)または当板をしてロープで吊り上げてください。

2 据付場所の選定

- (1) 据付場所は下記条件に合う場所をお客様の承認を得て選んでください。
・冷風が延長ダクト範囲内で取り出せるところ。
・風の通路に障害物のないところ。
・重量に耐える強度のあるところ。
・サービス作業が容易にできること。
・高温熱源およびぶく射熱から離れたところ。
・塵埃の少ないところ。
・ドレンの排水が確実にできること。
・可燃性ガスの漏れのおそれのないところ。
・高湿度(RH80%以上)にならないところ。(本体が結露し、水が滴下するおそれがあります)
(2) 製品の両側面から熱風が出ますので、熱風のこもる場所を避け風通しの良い場所または、換気扇等を取り付けて、45℃以下となる場所に据え付けてください。

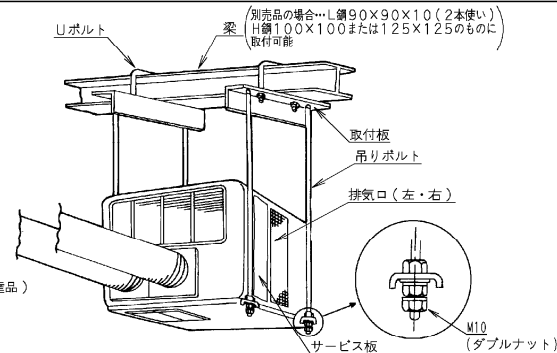


- (3) 据え付けようとする場所が製品の重量に耐えられるかどうかの検討し、危険と思われましたら、補強して据付作業を行ってください。
(4) 本製品は屋内および屋外軒下への据付が可能です。屋外軒下設置する場合は、直接雨のかからない場所を選んでください。特に側面の排気口には横なぐりの雨の場合でも水が入らない場所に据付してください。

△製品内に水が入ると、感電や火災の原因になることがあります。

3 製品本体の据付

- (1) 天井吊りの場合
1. 天井は本体重量に充分耐えることを確認してください。
2. 右図の梁以外は、天井補助金具(KCK1A2L)の別売品をご利用ください。
3. 本体吊り下げ順序(別売品使用の場合)
・現地の梁にUボルトと取付板を固定してください。
・取付板に吊りボルトを取り付けてください。
・本体取付位置に、バネ座・平座・ナットを取り付けてください。
・本体を持ち上げ、吊りボルトにセットしたナット部に取付脚を差し込んでください。
・取付脚部のナットを締め込み、適当な高さになるよう調整し強固に固定してください。
(2) 台置きの場合
1. 台は本体重量に充分耐える構造としてください。
2. 本体と台は、移動しないように固定してください。
3. この場合、本体が水平になるようにご注意ください。
4. 水はけのよい所に設置してください。
5. 本体と台との間が10mm以上確保できるように、間座(現地調達品)を取り付けてください。



△ドレン配管側と逆方向に傾斜させて設置すると、水漏れなどの原因となります。

4 ドレン配管

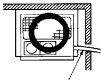
- (1) ドレン配管施工をしてください。
- 配管は短く排水側に、1/100以上の下り勾配をつけ、空気がたまりないようにしてください。
 - 配管径は接続配管(Rp3/4B)と同じか、それ以上にしてください。
 - 下り勾配1/100以上を確保するため支持金具を1~1.5m間隔で取り付けてください。
 - 製品本体のドレンソケット部は根元まで確実に必ず断熱工事をしてください。
 - 屋内を通る配管は、必ず断熱工事をしてください。

△断熱が不完全な場合、結露・水漏れの原因となります。

- (2) 配管施工後ドレンがスムーズに流れるか確認してください。
- サービス板を取りはずしてください。
 - ドレンパン内に、排水確認用の水を徐々に入れてください。
 - 配管ゴミづまりをなくすため、なるべく曲部はさけてください。

＜ご注意＞

- アンモニア臭のする下水道にはドレン配管を直接接続しないでください。
- 下水のアンモニア成分がドレン配管を通り製品の熱交換器を腐食させる可能性があります。



下り勾配にすること



持ち上がらないこと

5 リモコンスイッチの取付け

リモコンスイッチは必ず固定してください。

リモコンスイッチは、温度の高い所や水・油等のかかる可能性のある所は、必ずさけてください。また付属の壁取付板を使用して、壁、柱等に取り付けてください。リード線の長さは、4mです。

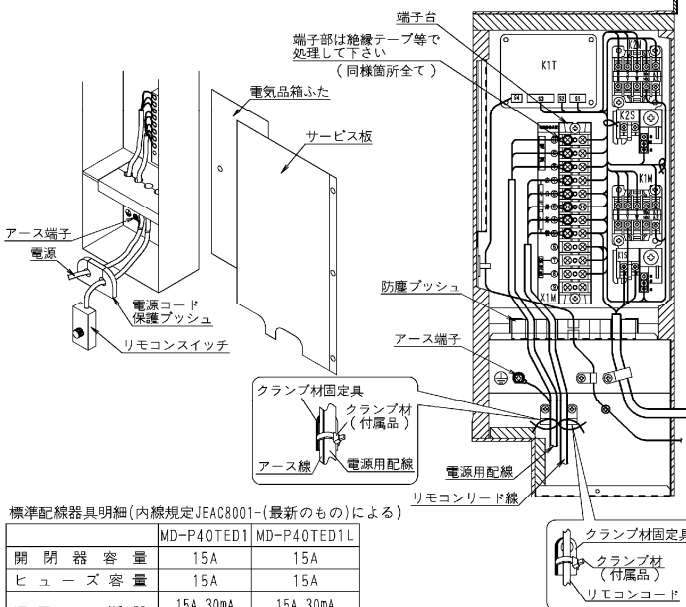
- リード線は、樹脂製止金(付属品)で止めてください。
-
- 製品を屋外軒下設置する場合でも、リモコンスイッチは屋内か、雨のかからない場所に取り付けてください。また、リード線の壁貫通部にはシール材(現地手配)を塗布し、リード線を雨水が伝わってリモコン本体に浸入せぬよう対策してください。

6 電気配線工事

●電気配線工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程JEA C8001(最新のもの)」にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。

- 漏電しゃ断器(電流動作形)を設置してください。
- 電源(開閉器)は全ての作業が終わるまで入れないでください。
- D種接地工事は必ず行ってください。接地抵抗値は100オーム以下にしてください。
- 漏電しゃ断器(電流動作形)が設置されている場合は、保護接地抵抗値が適用できます。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。ガス管：ガス漏れ時の爆発・引火の危険性があります。水道管：硬質ビニル管が使用されている場合、アースの効果がありません。電話線のアースや避雷針：落雷時にアース電位が異常上昇する危険性があります。

- 電気配線工事は「電気配線図銘板」も合わせて参照してください。
- (1) 電源の接続
- 本体よりサービス板と電源コード保護プッシュをはずします。
 - 電気品箱ふたをはずします。
 - 電源用配線に圧着端子(現地手配)を取り付けて、配線図にしたがい端子台に接続します。また、アース線はアース端子に接続してください。その際、電源線はアース線と共にクランプ材固定具に付属のクランプ材で固定してください。
- (2) リモコンリード線も同時に、配線図にしたがい、端子台に接続します。リモコンリード線をクランプ材固定具に付属のクランプ材で固定してください。
- (3) 電源電線、リモコンリード線の接続が終わりましたら、電気品箱ふたを閉め、電源コード保護プッシュに電源電線、リモコンリード線を通し、プッシュを元のとおりサービス板に差し込んで同時にサービス板を取り付けてください。



標準配線器具目録(内線規定JEA C8001-(最新のもの)による)

	MD-P40TED1	MD-P40TED1L
開閉器容量	15A	15A
ヒューズ容量	15A	15A
漏電しゃ断器	15A 30mA 0.1sec以下	15A 30mA 0.1sec以下
アース(銅)	2mm ² 以上 φ1.6mm	2mm ² 以上 φ1.6mm
電源電線(金属管)	2mm ² φ1.6mm	2mm ² φ1.6mm
最大こう長	36m	36m

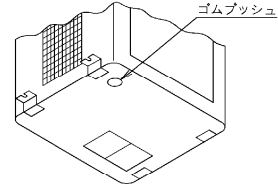
(最大こう長は電圧降下2%として計算しました。)

- △各配線をクランプする際は、配線接続部に張力が加わらないように、付属のクランプ材を使って、確実にクランプをしてください。
- 電気品箱ふたを取り付ける時、電線をはさみ込まないようにしてください。

- △配線接続後、機外からの小動物の侵入を防ぐため、配線取出部にスキ間が空かないよう、パテや断熱材(現地手配)で封止してください。(機内に昆虫などの小動物が侵入した場合、電気品箱内でショートするおそれがあります。)

7 水抜穴の利用

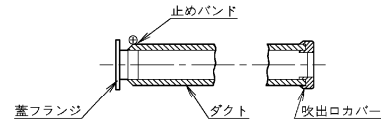
屋外軒下設置する場合は、万一、製品内に水が入った場合にそなえて下面にあるゴムプッシュを除去してください。(下図参照)



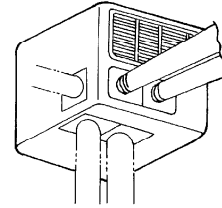
8 ダクトの施工

1. 本機には必ず別売の延長ダクト(KCD125タイプ)を利用してください。標準のダクト接続数は10m×2本です。ダクトは吹出口基部フランジに止めバンドを用いて確実に取り付けてください。

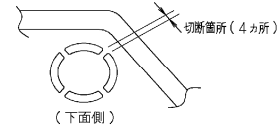
△冷気がもれると結露・水漏れの原因になります。



2. ダクトを取り付ける際、吹出口基部フランジに力が加からないようにしてください。
3. ダクトは、壁面あるいは天井面に適宜固定してください。
4. ダクトは、3方向に取り付けができますので、現地の状況に合わせて最適な方向を決めてください。但し吹出口基部フランジ数以上同時に使用することはできません。使用しない吹出口には、必ず付属の吹出口ふたを取り付けてください。



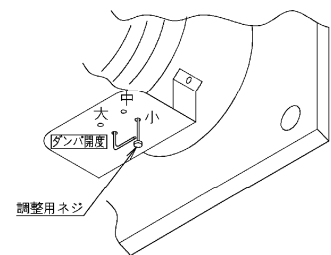
5. ダクト下面取り出しの場合、下図の位置をニッパーにて切断し、カッターナイフにて底面の穴にそって、内部の断熱材を切り吹出ダクトを取り付けてください。



6. ダンパは、ダクトの長さ、および各々のダクトの長さが異なる場合に、風量確保、風量配分調節用として使用します。
7. ダクト長さには制限があります。ダクト長さとのダンパ開度の選定の目安には下表を利用してください。

機種名	
MD-P40TED1	
MD-P40TED1L	
ダクト本数	2
ダクト長さ	1m
	5m
	10m
	15m
	20m
	1本当り目安風量 m ³ /min (50/60Hz)

表の見かた
例) MD-P40TED1にて、ダクト本数2本・15mで使用する場合
ダクト開度の組み合わせは、(中,大)、(大,大)の2通りです。
1本当りの風量の目安は
4.3~5.5, 5.0~6.3m³/min(50/60Hz)となります。



8. ダンパ開度の調整は、右上図の調整ネジを操作して行ってください。銘板の「大」、「中」、「小」はダンパの開度を示します。
9. 吹出口の位置が決まりましたら、先端に吹出口カバーを差し込んでください。
10. ダクトに露が付き滴下する場合がありますので、必要に応じて別売の防露テープ又は防露付延長ダクトを使用し、防露を施してください。

△ダクト長さが長い場合(10mを超える場合)はダクトからの放熱により吹出口の温度が上がります。必要に応じて別売の防露テープ又は防露付延長ダクトを使用し、防熱を施してください。

9 試運転の要領

(「(1)工事完了後のチェック項目」は全て終了させてください。)

- (1) 電気配線工事が終了後、機械保護のために取扱説明書の運転操作の手順にしたがって、3分間以上連続運転してください。
- (2) 試運転終了後、「おねがい事項」の内容をお客様によく説明してください。